

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【公開番号】特開2008-15519(P2008-15519A)

【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-170466(P2007-170466)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 2 4 A

G 0 9 G 3/20 6 1 2 E

G 0 9 G 3/20 6 2 2 C

G 0 9 G 3/20 6 2 3 C

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月22日(2010.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A M O L E D のセルを駆動する方法であって、
駆動電圧を変化させるために少なくとも一方が変更される駆動電位及び接地電位によっ
て、前記セルへ前記駆動電圧を印加するステップと、
予め与えられた時間フレームの間に前記セルへ輝度制御信号を加えるステップと
を有する方法において、
前記 A M O L E D における対象の運動中の鮮明さの印象が改善されるよう、前記時間フ
レーム内で傾斜を有して前記駆動電圧を変化させるステップを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記駆動電圧は、前記時間フレーム内の予め与えられたアドレス指定時間期間の間に小さくされる、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記駆動電圧は、前記時間フレーム内に連続的に増大又は減少する、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記駆動電圧は、前記時間フレームの一部分において連続的に増大し、前記時間フレームの他の部分において連続的に減少する、請求項 1 又は 2 記載の方法。

【請求項 5】

前記駆動電圧は、駆動電位及び接地電位によって与えられ、
 前記接地電位又は前記駆動電位は、前記駆動電圧を変化させるために変更される、請求

項 1 乃至 4 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 6】

A M O L E D のセルを駆動する装置であって、
予め与えられた時間フレームの間に前記セルへ駆動電圧及び輝度制御信号を加える駆動手段を有する装置において、
前記 A M O L E D における対象の運動中の鮮明さの印象が改善されるよう、前記時間フレーム内で傾斜を有して前記駆動電圧を変化させる制御手段を特徴とする装置。

【請求項 7】

前記制御手段は、前記時間フレーム内の予め与えられたアドレス指定時間期間の間に前記駆動電圧を小さくする能力を有する、請求項 6 記載の装置。

【請求項 8】

前記制御手段は、前記時間フレームにおいて連続的に前記駆動電圧を増大又は減少させる能力を有する、請求項 6 又は 7 記載の装置。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記駆動電圧を、前記時間フレームの一部分において連続的に増大させ、前記時間フレームの他の部分において連続的に減少させる能力を有する、請求項 6 又は 7 記載の装置。

【請求項 10】

前記駆動電圧は、駆動電位及び接地電位によって与えられ、
前記制御手段は、前記駆動電圧を変化させるために前記接地電位又は前記駆動電位を変更する能力を有する、請求項 6 乃至 9 のうちいずれか一項記載の装置。